

2023年7月12日

報道関係者 各位

コーユーレンティア株式会社

サステナブルな社会実現に向け、アップサイクル化に注力
～第1弾としてアップサイクル商品「ボックスソファ」の提供開始～

コーユーレンティア株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：梅木孝治、以下「コーユーレンティア」）は、このたびサステナブルな社会実現に向け、アップサイクル[※]化に注力します。

アップサイクル商品「ボックスソファ」は、既に昨年より一部導入を開始していましたが、今回、サステナブルな商品戦略強化を図る上からも、7月よりレンタル商品として本格的に提供を開始します。

今回提供するアップサイクル商品「ボックスソファ」は、商品の品質状態は良いものの、デザインや仕様から不稼働品となっている現行商品をアップサイクル化しました。張地をオフィスに馴染む色に張り替え、台座を取り付けシートハイの高さに合わせることにより、オフィスで快適に使用できるよう用途を広げ、廃棄予定の商品を価値あるものに生まれ変わらせました。

本取り組みにより、在庫商品の有効活用を図るとともに、廃棄処分の削減を図ることが可能となります。

（市場環境）

アップサイクル[※]は、本来は捨てられるはずの製品に新たな価値を与えて再生するもので、「創造的再利用」とも呼ばれており、デザインやアイデアによって付加価値が与えられることで、製品のアップグレードとも捉えられています。大量廃棄を生み出す大量生産、大量消費の社会に代わり、サステナブルな社会が求められている現在では、アパレルや食品業界を中心にアップサイクルがあらためて注目されています。

（コーユーレンティアの取り組みと背景）

コーユーレンティアは創業以来、モノを繰り返し使う独自の3R（リデュース・リユース・リサイクル）を標榜し、FF&E（家具、什器、備品）のレンタルを通じて、環境に配慮した循環型事業モデルを推進しています。

2,000アイテム100万点の商品のうち、約60%が自社で開発した商品であり、約80%といった高水準な稼働状況にあります。新たな働き方を実現し、社会課題を解決する「WSシリーズ」「ラボリリー」「スキマ収納シリーズ」に加え「環境配慮型商品」にも注力するなど、常に時代やお客様ニーズに合った商品を提供する一方で、一部には時代ニーズに合わず、不稼働品もあることから今回の取り組みを通じたアップサイクル化に至りました。

■ボックスソファ

(1) 経緯

商品自体の耐久性には問題はないが、需要の変化により稼働率が低下する商品もあり、リユース需要が乏しい場合には廃棄処分をせざるを得ず環境負荷をかけていた。

(2) 機能と特長

①アップサイクル

廃棄予定品に加工を施すことで商品価値を高める。

「アップサイクル」に積極的に取り組むことで、廃棄処分の削減を図る。

②デザイン性の向上

生地色を明るく印象の良い張地に変更。

台座部分に本体生地と馴染むグレー木目調シートを表面し、全体的にナチュラルな印象として、弊社商品『WS シリーズ』に活用可能なデザインに変更。

③利用用途の多様化

アジャスターを取り外し、木製の台座部分を取り付けることで、シート高を+40 mmアップの 420 mmに変更。天板高が 700~720 mmのテーブルとの組み合わせで利用する際に、快適に着座できる高さとした。

今後もコーユーレンティアでは、2023年4月に策定した『サステナビリティ基本方針』に基づき、「環境配慮型商品」の開発や在庫商品を活性化するための「アップサイクル化」を推進、廃棄物ゼロを目指すとともに、物流・配送の効率化を推進することでCO₂削減に注力し、サステナブルな社会に貢献してまいります。



以 上

【コーユーレンティアについて】 <https://www.koyou.co.jp/>

【ボックスソファについて】 <https://www.koyou.co.jp/business/items/detail?id=1066>

【本リリースに関する問い合わせ】

・お客様お問い合わせ・商品のお問い合わせ先

コーユーレンティア株式会社 お問い合わせフォーム <https://www.koyou.co.jp/contact/>

・報道関係お問い合わせ先

コーユーレンティア株式会社 IR 広報室 TEL:03-6478-9724 koho@koyou.co.jp